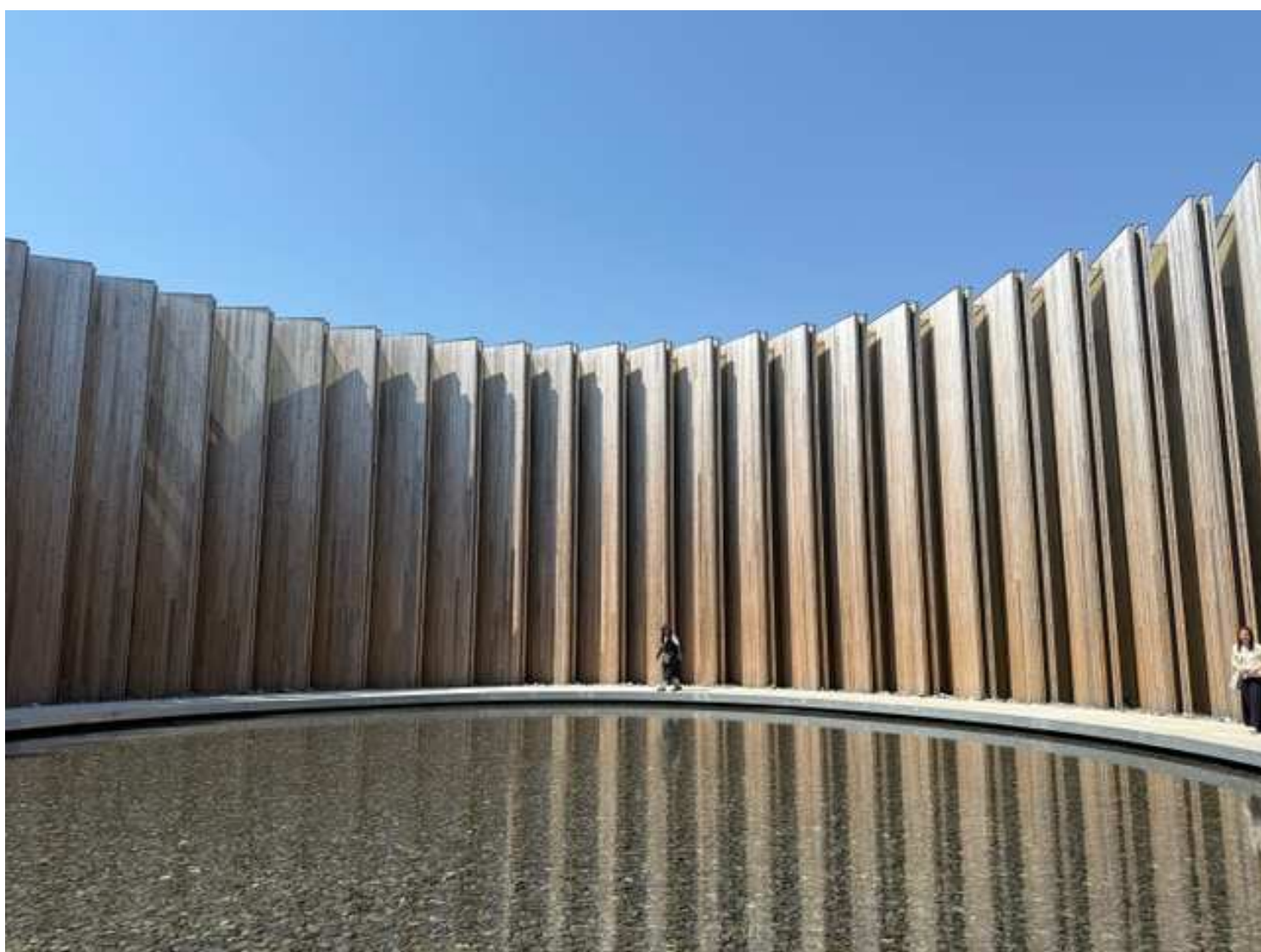


ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo 641

2025.9



2025 年 9 月 1 日 (毎月発行) 定価 200 円 641 号通巻第 641 号第 55 巻第 9 号発行/新建築家技術者集団東京支部
発行人/杉山昇 〒162-080 東京都新宿区山吹町 361 番地 誠志堂ビル 3 階 tel.03-3260-9810 fax.03-3260-9811
ホームページ <https://nu-ae.com/tokyo/> E-mail shinken-tokyo@group.email.ne.jp

ホワイエ 641 目次

03 大阪・関西万博	五十嵐一博
04 飛騨高山「大下家」改修工事報告	柳澤泰博
08 旧池尻中学校のリノベーション	山下千佳
09 第54回「地球温暖化について考える」	渡辺政利
11 鋸屋根に魅せられて	吉田敬子
13 アジアンニュース No.32	TN

今月の表紙 提供：五十嵐一博
大阪・関西万博内のパビリオン、日本館にて撮影。
CLT（直交集成板）を円環状に配置した構造体で、万博終了後には日本各地で建物にリユース予定です。

Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

東京支部

- ◎10/08 木 18:30 第5回常任幹事会 @新建事務所
- ◎10/14 火 16:00 東京の課題・問題 懇談会（拡大常任幹事会）@新建事務所

全国

- ◎09/03 水 19:00 第2回新建懇談会「災害時、災害復興時の住まいについて」
話題提供：窪田亜矢さん（新建宮城支部、東北大学教授）
- ◎09/04 木 19:00 子ども環境研究会 @ZOOM
- ◎09/13 土 全国幹事会
- ◎10/25 土-26 日 建築とまちづくりセミナーin 仙台
- ◎11/29 土 全国大会

会員及び交流団体 詳細は（ ）に記載された会員へお問い合わせください。

- ◆10/05 土 マンション維持管理支援・専門家ネットワーク設立20周年 記念講演・レセプション（佐伯）
@主婦会館プラザエフ
- ◆11/05 水-09 日 2025年日本建築学会文化賞受賞記念写真展「のこぎり屋根に魅せられて」（吉田）
写真展とトークショー @入間市アミーゴ
- ◆11/08 土 全国災対連 災害被災地交流集会 @全労連会館+ZOOM（千代崎）
- ◆11/15 土 憲法フォークジャンボリー（村上） @滝野川会館

「2025 建築とまちづくりセミナーin 仙台」プレ企画 オンライン開催

第3回 9月19日(金)18:30~20:00 進行役 窪田

「浜の生活と反原発」佐藤清吾氏

第4回 9月24日(水)18:30~20:00 進行役 岩淵

「寂寥(せきりょう)たる創造的復興」小川静治氏（県民センター）

詳細・お申込みは全国ホームページ <https://nu-ae.com/25sendai-pure/>



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp

■大阪・関西万博

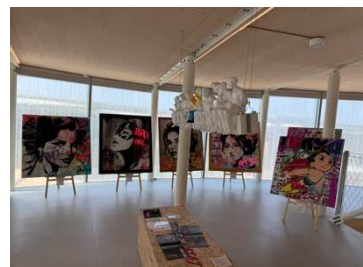
7月31日（木曜日）、家族で大阪・関西万博に行ってきました。9時入場ですが混雑に備えて7時30分過ぎに東ゲートに到着。既に多くの人が並んでいましたが、無事に9時過ぎに入場。世界最大の木造建築である大屋根リングが出迎えてくれます。予約なしで見学可能で、目星をつけておいたブラジル、オーストリア、バーレーン、チェコ、北欧館を見学しました。



大屋根リング



ブラジル館



チェコ館

昼食後は、抽選予約に当選していたガスパビリオンへ。VRゴーグルを装着し、参加者同士が「お化け」に変身します。子ども向けかと思いきや、大人も楽しめるパビリオンです。その後は日本館（CLT造）や妻の会社が施工したサウジアラビア館、輪島塗の地球儀が展示されている夜の地球館などを見学し、万博開場の中央にあるシグネチャーパビリオンゾーンへ。今回の万博で一番楽しみにしていた「null2（落合陽一）」に向かいます。



ガスパビリオン



日本館

null2 は建物の外壁が特徴的で、鏡の様なファサードが振動しながら揺れています。建築は固く動かないもの、というイメージを壊すために開発された新素材で作られているそうです。内部も鏡とLED液晶で構成された空間で、四方から映像が流されます。尚、null2 はより多くの方々に体験していただける様に、現在は Youtube でも内部の展示を閲覧できます。



null2（落合陽一）

終了まで2ヶ月を切った大阪・関西万博。7、8月よりは多少涼しくなってくると思いますので、是非皆様も足を運んではいかがでしょうか。

飛騨高山「大下家」改修工事報告

柳澤泰博

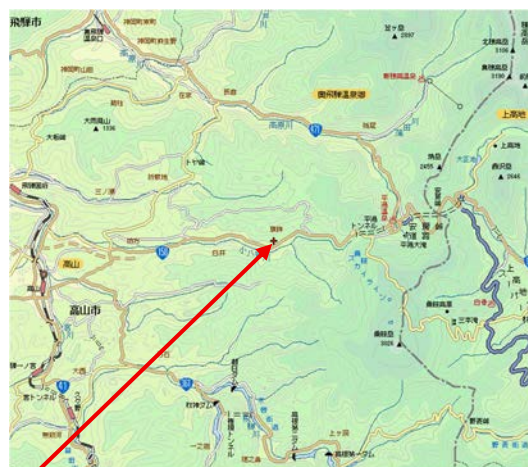
私たちは「自然流健康の家」と銘打ち自然素材の家造りを行っています。以前その理念のもと岐阜県高山市丹生川町に「太陽の家」という自然体験施設を造りました。その敷地所有者である大下さんの居宅であり、今は使われていない「大下家母屋」を改修することになり、このほど現地に行ってきました。

向かったメンバーは、設計グループはこの施設の所有関連会社から社長と設計士、新建神奈川支部の酒井さん、私柳澤の四人と、棟梁を筆頭に大工グループ四人 計八人の大所帯？で行ってきました。

7月23日朝 設計グループと大工グループに分かれてそれぞれ別々に横浜を出発しましたが、両グループとも「太陽の家」にPM2:30同時に到着しました。

早速大下家に向かい下調べ、今回の工事でどこまでやるのか、何をやるのかの確認を行いました。

検討の結果、傷みのひどい母屋西側縁側を、屋根と柱、土台は残し、建具と壁と床を撤去解体することにしました。棟梁の指示のもと三人の大工さんがテキパキと作業を分担してこなしていきます。



太陽の家—高山市丹生川町旗鉾



今回作業をした西側広縁方向



設計グループは、平面資料を基に実際に柱がどの位置にあるか、梁の位置と掛け方、部材の寸法、内法高さ（敷居から鴨居までの高さ）、などを調べて回りました。

さてこの大下家は建ててから 150 年以上と言われ、この地域の歴史を纏めた「丹生川村史」にも取り上げられて

いる農家の平屋建て民家です。

残念ながら現在は人が住まなくなり、建物が放置されてから時間もたっているので部屋の中はだいぶ散乱しており、獣の出入りもあったようです。

またその時代時代により増改築され、少しずつ姿を変えています。前記した「丹生川村史」に掲載されている図面にも 戦前 昭和 20 年代 昭和 50 年以降 と三葉の平面割り図が掲載されています。

建物は平屋ですが、明治大正期？には小屋裏で養蚕もされていたようで、板の間（ざしき）の天井は簀の子になっており蚕棚を設置していたようです。

平面構成は大きくは「おくのでい」（仏間）「でい」（和室 8 帖）「ざしき」「ねま」で構成されており、それに南側西側に広縁が回っています。

東側の「ざしき」「ねま」は板の間で、さらに東に土間がありその土間を挟んで以前の牛小屋と薪納屋がついています。

建物としては柱梁が見える真壁作りで、板戸、襖、障子で仕切られており、一部の壁は板で造られています。柱は 5 寸角が基準で差し鴨居、大梁も大きなものが使われています。

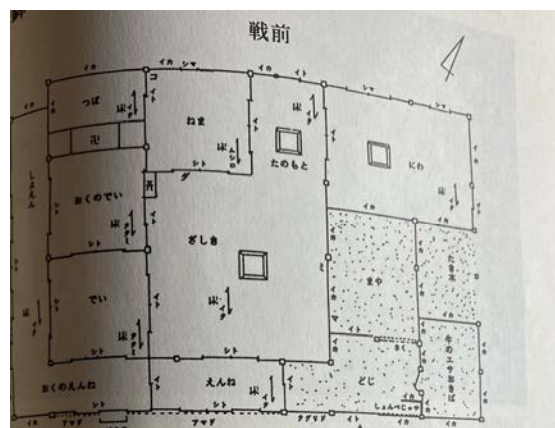
広縁の床をはがすことにより母屋の床下の部分が判るようになり、どの程度のゆがみ、傷み、狂いがあるかの確認を行うことができました。部屋の四隅の柱の高さを調べたところ、最大二寸五分 (75 mm) とだいぶ高さが違うことが解かりました。

小屋組みでは柱と梁の通り位置は必ずしも一致していませんでした。

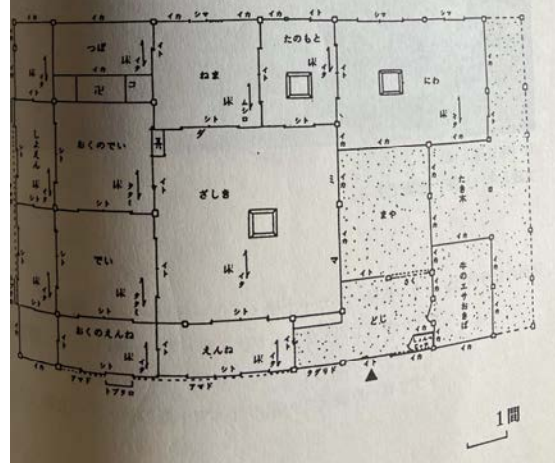
床下は基礎石の上に直接柱を建て、その柱にほぞ穴を突いて、貫大引を回しその上に根太を並べていました。

平面図

戦前

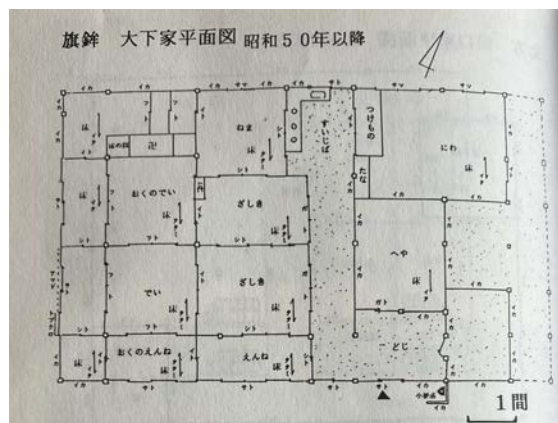


昭和 20 年代



昭和 20 年代

昭和 50 年以降





天井は簀の子天井

梁組が見える

差し鴨居



東側の部屋の小屋組み



広縁の床をはがして床下の基礎石が現れました。

床下はシロアリの痕跡はあるが、土台柱の被害はそれほどひどくはない。しかし土台全体にだいぶ下がっているのがわかります。



貫大引



母屋の床下の根太材は大きめですがいろいろな寸法の材が使われており約二尺ピッチに入っていました。



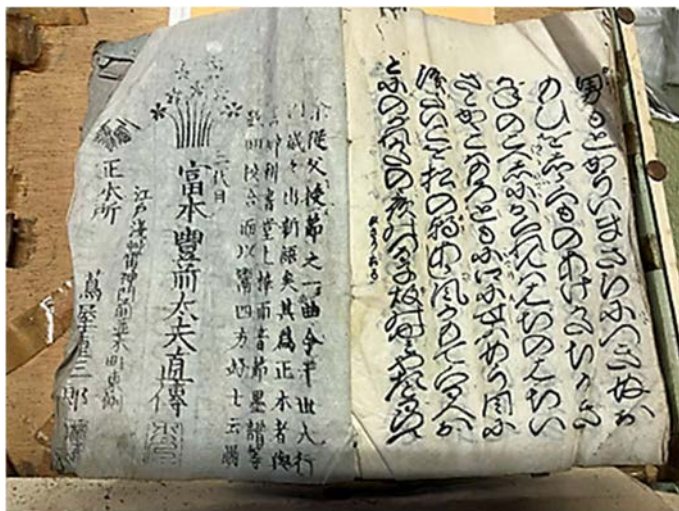
広縁の天井を剥すと屋根下が現れ、野地板に新聞紙が張られていました。日付を読むと「大正 12 年 12 月 16 日発行」の文字が読めました。おそらく防湿防風のために張ったものかと思われます。

今回は和室と広縁の間に仮に防水シートと外壁板を張って作業終了

今後改修進捗状況によりご報告してきたいと思います。

家宅整理品の中からこのような興味深いものも出てきました。

今放送している NHK 大河ドラマ『べらぼう〜蕨重栄華乃夢噺〜』にも登場する「二代目富本豊前大夫」直伝の富本節（浄瑠璃）の歌詞本です。「正本所 蕨屋重三郎」の名が読めます。本の題名は「道行 菜種裳」（みちゆき なたねのもすそ）という歌舞伎浄瑠璃の外題です。ドラマにも出てきたいわゆる「青本」のようです。



次世代型複合施設 HOME/WORKVILLAGE

各地で小学校や中学校が閉校・廃校になっています。すでに解体された学校もありますが、まだ残っている校舎や校庭が地域のコミュニティや新たな活力を生む空間になってほしいという思いから 7 月 25 日に行って来ました。

世田谷区池尻にあった区立の“池尻中学校”が、2004 年 3 月に閉校され、「世田谷ものづくり学校」として再活用されていました。（2022 年 5 月末に閉館）。その後、地域に新たな次世代型複合施設として、飲食やショップ、オフィス、学びの場、イベント空間として機能し、多様な人々が交流する「地域の小さな村」へと生まれ変わりました。

施設概要：HOME/WORK VILLAGE （ホームワークヴィレッジ）

校舎棟（RC 造・地上 3 階）

旧校舎・体育館・校庭をリノベーションし、「HOME」「WORK」「HOMEWORK」をキーワードに、生活・仕事・社会課題（宿題）をテーマに住民・事業者・クリエイターなど、人が集まる場を創出し、次世代の「働く・遊ぶ・学ぶ」を実現する複合施設として、2025 年 4 月に開業、7 月 24 日にはグランドオープンしました。

1 階：飲食・物販店舗が約 14 店舗連なるミニ商店街

2 階～3 階：コワーキングスペース、スモールオフィス、幼児～小学生向けクリエイティブラーニングスクール「レンズ」など

体育館棟：地域体育館として機能を保持しつつ、ブックラウンジやスポーツスタジオ併設。

校庭：地域イベントや屋外ワークショップに活用

参考（プレスリリース・ニュースリリース配信シェア No.1 | PR TIMES, HOME/WORK VILLAGE - 旧池尻中学校跡地施設活用プロジェクト, madameFIGARO.jp（フィガロジャパン））



体育館

ミーティングをしている人、友達と話している人、ベビーカーを押したお母さんグループや高齢のご夫婦など、それぞれに楽しんでいました。

第 54 回 「地球温暖化について考える」

渡辺政利

6 月から 8 月の高気温（平均）と 7 月の降水量

昨年、昨年（2023 年、24 年）の日本の夏の気温は史上最高を連続記録して実に暑い夏が続きました。しかし、2025 年つまり今年の夏はさらに高気温で推移しており、3 年連続して高温記録が更新されています。戸外活動に対する注意放送が強調されています。

今年 8 月 1 日、気象庁は日本の 7 月における平均気温が平年（2020 年までの 30 年間）を 2.89℃上回り、1898 年統計開始以来の最高気温記録を 3 年連続して更新したと発表しました。今年は 6 月の平均気温がやはり平年より 2.34℃上回って観測史上の高温記録を更新しており、気象庁異常気象情報センター・及川義教氏は「6 月～8 月までの夏の平均気温も更新する可能性が十分ある」との見方を示したと報道されています。（8 月 2 日・しんぶん赤旗）この記事が「ホワイエ」に掲載される頃には 8 月の観測記録も最高気温記録更新が明らかになっているかも知れません。

気象庁によると 6 月は全国 153 観測地点の内 122 地点で歴代 1 位の高温（タイ記録含む）で、北日本は平年を 6.32℃、東日本は 2.3℃、西日本は 1.8℃平年を上回りいずれも過去最高。同じく 7 月は、全国 153 の観測地点の内 98 地点で歴代 1 位の高温（タイ記録含む）となり、北日本は平年を 4.5℃、東

日本は 2.7℃、西日本は 2.2℃上回りいずれも過去最高気温であったと言います。この原因は太平洋高気圧が本州近くに強く張り出したことにより、晴れて厳しい暑さになる日が多かったためと説明されています。

その一方で、7 月は日本海側を中心に降水量が異常に少なく、東北地方の日本海側では平年比 13%、北陸は 8%に留まったことを発表しました。これは 1946 年の統計開始以来最少記録であり、「異常な小雨」（気象庁担当者）と言われます。これらの地域では渇水が深刻化しました。

この状況をしんぶん赤旗は 8 月 2 日、以下のように取り上げています。「新潟地方気象台によると、今年はコメの品質低下や生産量の減少が問題となった 2023 年の夏よりも高温と少雨の傾向が高く、同気象台の担当者は『これまでに無い状況だ』と危機感を示します。県によると、県内に 23 カ所ある農業用ダムの平均貯水率は、7 月 25 日の時点で 78.7%と、過去 10 年の平均貯水率（89.0%）を大きく下回りました。コメは穂が出る 8 月ごろに高温が続くと、白濁や黒い着色が見られたり、割れやすくなったりして品質が低下。」「水不足は実りにくさにもつながり」、「大きな川のない中山間地の水田では既に稲が枯れ始め、地面のひび割れも発生」「ずっと専門のコメ農家としてや

ってきたが今年是最悪の年。収穫量は通常の半分に届くかどうかだ』と頭を抱える人以外にも、水田に大きな網目状のひび割れが入り大半の稲が枯れた別の農家では「『このような状況が1, 2年続くなら、ここは撤退する』」と語っています。

日本のコメ農業に危機が迫っていると言えるのではないのでしょうか。前出の及川氏は、8月前半は「一時的に平年並みか平年を上回る降水量が予想されるが、これまでの小雨を解消するほどの量にはならない可能性がある」と指摘しました。8月前半には指摘のとおり雨が降って乾燥した大地に恵みをもたらし、この雨で乾いた農地が潤ったとの報道もありますが、ダムの貯水量は少ないままで、今後の気候がどのように推移するのかに関心を寄せざるを得ません。

最高気温の記録と地球温暖化

高気温の毎日が続いて平均気温が平年を大きく上回る状況では、最高気温が記録的になることも必然かも知れません。今年の新聞報道では全国の高気温記録が翌日に度々報道されました。気象庁は最高気温や最低気温などの記録を表にして明らかにしていますが、それを見ると、最高気温が今年（2025年）の夏は記録的であったことが示されています。昨年までの日本における最高気温記録は2020年8月17日に浜松市と2018年に熊谷市で記録された41.1℃であったようですが、今年の8月5日に群馬県伊勢崎市で41.8℃が記録され、これが日本における観測史上の最高気温記録と認定

されました。また、8月6日に静岡市と8月5日に埼玉県鳩山市で41.4℃、8月5日群馬県桐生市と7月30日兵庫県柏原市で41.2℃と5地域で昨年までの最高気温記録が超えられました。今年の夏はいかに気温が高く推移したか、そしてそれが毎年更新していくことがこの記録からよく分かります。

トランプの無謀な環境政策

アメリカの第2次トランプ政権が、今年（2025年）1月20日から動き出しました。トランプ氏による第1次政権は2017年～2021年でしたが、今回の第2次政権ではスローガンとして「アメリカ・ファースト」を掲げ、アメリカ国民と国内産業の利益を最優先に考える貿易政策や軍事、外交、政府機関の形、政府の雇用政策など幅広い分野での政策を一気に打ち出しました。経済政策では国内産業の保護と雇用創出を目指し関税の強化のほか、アメリカに滞留する「不法移民」の一斉追い出しなど実に手荒とも言える政策を強権的に打ち出しました。一連の政策の中には以前の政権が地球温暖化に配慮して積み上げてきた政策を破棄して、火力発電の奨励など二酸化炭素排出をむやみに拡大する政策を打ち出しました。こうした保護主義的な政策や地球温暖化をさらに進める環境政策への転換には長期的で大きな影響が残るものとして良識ある世界の人びとから大きな憂慮が示されています。

こうしたトランプ政権下、アメリカ南部テキサス州中部では今年7月4日からの激しい集中

豪雨により大規模な洪水が発生し、120人以上の死者が出る大惨事となりました。テキサス州内を流れるグアダルペ川の氾濫で多くの家が浸水、各地の道路が寸断され関係当局はヘリコプターによる懸命な救助活動を行ったようですが、川沿いの複数の地点でキャンプを行っていた700人を超える児童の内27人が死亡したと伝えられています。突然の豪雨で川の水位が急上昇し、被災現場では鉄砲水が発生したものとみられています。

この災害で多くの死者・行方不明者が出たその裏にはトランプ政権による国立気象局(NWS)に対する人員削減があつて、災害対応の遅れにつながったとする強い批判報道がされたようです。これらの批判は連邦政府が性急に進めた気象関係官庁の人員削減を問題にするもので、結局、「トランプ政権が廃止を計画していた連邦緊急事態管理庁について『新たな形で再編する必要がある』」として、「事実上、廃止を撤回・存続する方針を表明」(ノーム米国土安全保障長官・しんぶん赤旗7月15日)することとなったようです。「120人以上が死亡した南部テキサス州の洪水被害をめぐって気象予測や災害対応に関係する連邦政府職員の大規模削減への批判が高まったことを受けて方針転換に追い込まれ」(同上記事)たのです。「テキサス州の洪水では、気象当局からの警報発令が遅れたり、連邦緊急事態管理庁の電話がかかりにくくなった問題が指摘され」ており、「背景にはトランプ政権による政府機関の人員削減があると報じられています」(同上記事)とありま

す。結局、トランプ氏は7月11日、洪水被災地を直接視察することになったようです。

トランプ政権は地球温暖化の進行自体を認めないか軽視しており、これによる環境行政機構の役割軽視が、被害拡大となって早速現れたと言っても過言ではありません。

ところが7月31日しんぶん赤旗は、トランプ政権の環境保護局長官が、温室効果ガスが地球温暖化を深刻化させ国民の健康と福祉を脅かすとしてきたこれまでの歴代政府判断の撤回を発表したことを伝えています。

その内容は、2009年オバマ政権時代の環境保護局が行った「二酸化炭素(CO₂)やメタンなどの温室効果ガスを国民への脅威とみな」して「危険性認定」したことを撤回するとしたものです。これは「新車や火力発電所、航空機などから排出される温室効果ガスに」「規制を強め」た政策を撤回しようとするもので、「これまでの規制強化で1兆ドル(約148兆円)が費やされ」ており、規制強化撤回の政策は

「『米国市場で最大の規制緩和』となり、国民はより手頃な値段で自動車を購入できる」などと浮薄とも言える主張したようです。この方針には当然、アメリカ国内で大きな反対が巻き起こっており、この記事にも「新方針が最終決定されれば、各州や環境団体などによる差し止めを求める訴訟が相次ぐと見られる」とも書いています。「米国でも毎年、深刻な気候災害が起こっているが、トランプ政権はその事実がないかのように振る舞っている」との非難も記されています。(つづく)

鋸屋根に魅せられて

中国・蘇州^{スウジョウ}-① 写真家 吉田敬子

この度「2025 年日本建築学会文化賞」を受賞し身に余る思いです。表彰業績名「全国的なノコギリ屋根工場の写真記録を通した建築文化発信と普及活動」です。私と新建の出会いは1枚の写真からです。会員だった建築家の従兄に誘われ新建の事務所を訪ねた時、「鋸屋根」の写真を見せました。「凄い迫力、この写真掲載させて下さい。」と、山本ヒカルさんの一声でホワイエ 2003 年版の表紙写真が「^{のこぎりやね}鋸屋根」のデビューです。以来 20 年以上のお付き合いとなり、鋸屋根を全国に発信する機会を得ました。私には鋸屋根の師匠がいます。今回の受賞をお知らせする前に、師匠は今年 2 月に逝去されました。「謹んで哀悼の意を表します。」と、共に鋸屋根師匠・野口三郎先生との思い出深い、蘇州の鋸屋根を紹介します。野口先生との出会いは、群馬県桐生市です。私が鋸屋根に魅せられ撮影を始めた 1998 年です。当時は高等学校教師で、桐生市内に残る鋸屋根の調査をしていました。「どうですか？鋸屋根ありましたか？」の挨拶から始まり、鋸屋根の歴史や始まりまで教えて頂き、私が勝手に決めた「鋸屋根師匠」です。2002 年、高等学校定年後の師匠は日本語教師として、蘇州市職業大学に赴任し蘇州の鋸屋根も調査されていました。2004 年「蘇州の鋸屋根の解体が急速に始まりました。なるべく早くお越し下さい。案内します。」と連絡を頂きました。

市内を縦横に運河が巡る蘇州の街 2004 年 6 月撮影



蘇州の歴史は、紀元前 514 年に呉王こうりょ闔閭が周囲 25km の城壁を築いて都として以来 2500 年の歴史を誇る古都です。養蚕の歴史も古く蘇州、南京、杭州は 3 大シルク産地です。師匠・野口先生は 2002 年から 2011 年まで、蘇州で教師をしながら学生と鋸屋根の調査もしていました。解体の危機との連絡を頂き、2004 年 6 / 6 ~ 10 まで蘇州へ行って来ました。街は外城河という運河に囲まれ、いたるところに細い運河が網の目のように走っています。運河沿いには住宅が並び、路地裏の木陰で老人が居眠りをしている。近所の主婦たちが賑やかに縫い物をし、その周りで子供たちが遊んでいる。夕陽が運河に映り込み、街も夕陽に染まる。翌朝は「出租自在」レンタサイクルで人民路から撮影開始です。ところが通勤ラッシュに遭遇です。車よりバイクと自転車が多く、信号は無視状態の迫力です。タイミングを合わせて前進です。地図上の工場を探すには大陸は広すぎます。そこで 76 m ある、八角九層の北寺塔に登りました。七層まで登ることができ、白壁と黒瓦屋根の市内を一望でき素晴らしい眺めでした。ですが再開発に伴い、古いビルや鋸屋根工場の解体工事が目立ちました。水路沿いの狭い住宅地では、水と強く結びつきながら、機能的な住環境が生み出され蘇州を肌で感じました。(続)

写真説明；人民路、十全街をレンタサイクルで探索する。
運河沿いの大規模な鋸屋根工場と解体工事中の鋸屋根



東京の身近なベトナム飲食店

このコーナーで、ロンドンとパリのベトナム人街を紹介しました。ところで日本では、どうかと思ひ探ってみました。筆者の職場がある恵比寿駅、住まいがある大森駅、何度か利用したことがある大塚駅など身近な場所です。さすがにベトナム人街というわけにはいきませんが、皆さんの最寄りの駅周辺にもいくつかのレストランや総菜屋さんがあることに気が付かれることと思います。

恵比寿駅周辺: (1)「ニャーベトナム(ベトナム館)旧館」は、恵比寿駅西口から7~8分の所にありましたが、5~6年前に、廃業し、移転しました。廃業は、地主さんによる新しいビル建設でした。今は、新しいビルになっています。旧館のたたずまいは、ザ・ベトナムを醸し出されており、私の大好きなレストランでした。入口を入るとアオザイ姿のウェイトレスに迎えられ、木造の階段で頭をぶつけないように、入った

ものでした。フォーなどのベトナム料理やコンデンスミルク入りの越南コーヒーをいただきました。1階には、ベトナム雑貨が所狭しとおかれており、ベトナムを満喫していました。ベトナム関係の専門家仲間の会合や事務所への来客があった時の会食の場所でした。



(2)「ニャーベトナム新館」は、恵比寿駅西口ですが、駅からは少し

遠くなりました。ビルの3階あたりなので、趣はまいちです。ここに移るのに、あちらこちらに移りながら、ようやく到着しました。会計の女性は、私は日本人ですよと張り切ってお話してくださいました。料理人も制服を着ていて、きびきびした清潔感あふれる感じです。ここもそれなりのしつらえがありますが、旧館には劣ります。



(3)「バインセオ屋台」も、2~3年前に廃業になり、現在建設中です。(在りし日の屋台:左・中央写真)

(4)「恵比寿ミスサイゴン」も西口にあります。(右端の写真)



(5)「バインミー専門店」は、恵比寿ストアの通りに面してあります。このお店は、都内でのチェーン展開をおこなっているようです。ストアの奥には、フランスパンの製造所があり、ここ以外にも配送しているようです。日本人、外国人それぞれに人気があるようで、いつも絶えず列をなしています。(右端の写真はパンの製造所)

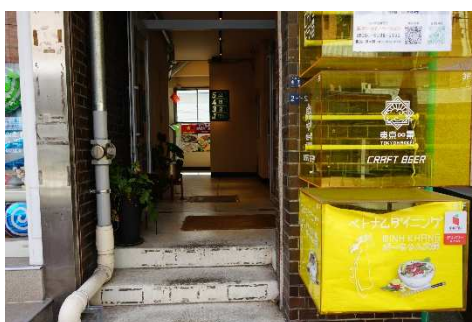


大森駅周辺: (1)「XSUAN SHOP VIETNAM NHAT」は、日本の越南ショップという翻訳かな。XSUAN は、春で、NHAT は、日本です。住んでいる大森駅から、商店街を抜けたあたりに、10 年ほど前に開店しています。ここは、ベトナムの総菜屋さんという雰囲気です。私は、いつも粉のコーヒーやら、フォーの乾麺、珍しい飲料水を購入しています。



(2)「ボーケン大森」は、駅西口出た 2~3 分のところの地下 1 階にあります。筆者は、1~2 回利用したことがあります。まああの味だったと記憶しています。

大塚駅周辺:「大塚マイヒエン」は、大塚駅を出て、南方面に行くとあります。小さなお店ですが、ベトナムの味は、とても良いところで、やはりベトナム関係の専門家の会食に使っています。この大塚駅かいわいは、私は知りませんが、いろいろなお店があるようです。



終わりに: 東京周辺のベトナム関係のお店を探ったわけですが、参議院選挙から外国人排斥の動きが多くなっています。こうした動きに、常に注意を向けて、そのたびごとに抗議していくことが大事だと思います。

住む人・使う人の立場で、
住まいづくり、まちづくりを
すすめています。



共同建替「アリシア鳩ヶ谷」

〒124-0001
東京都葛飾区小菅4-22-15
TEL : 03-3601-6841
FAX : 03-3601-6944
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp
<http://www.zo-3.info>

株式会社 **象地域設計**

新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

住み続けられる



株式会社
まちづくり研究所

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

WHY?

え？

広告主募集中です！

新協建設工業株式会社

平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3
台東支店 (台東) 台東区台東2-25-10
西東京支店 (多摩) 日野市神明4-22-13
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11
石川支店 金沢市法光寺町207-4
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728